

令和4年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・最終)

学校関係者評価委員 氏名

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A4 B1	<p>○来年度も目標、指標をキュッとしばって簡素を旨としたい。「主体的に学ぶ児童」とは、何がどのようにできることを目指すのか、具体の姿を教職員全員で再考し共有したい。</p> <p>○明確で高い目標を定めている。</p> <p>○自己評価がB以上となっている項目もあるが、「C評価:もう少し」となっている項目が多い印象を受ける。目標値の設定が厳しすぎる可能性もあるのではないだろうか。現実的に実行可能な目標値を設定することが大切だと思う。</p>
目標達成のための方策の適切さ	A4 B1	<p>○学年や担当が違っても同じノートの使い方ができるようにする、といった具体的な方策を浸透させ地道に取り組んでいかれることが大切だと感じた。</p> <p>○具体的で取り組むイメージが分かりやすいので、結果へとつながると思う。</p> <p>○今回は委員会を欠席させていただいたので、方策の具体的な中身が把握できておらず、評価はBとさせていただきます。</p>
自己評価の結果と分析の適切さ	A4 B1	<p>○よりよい教育を目指しているのだから、しなければならないことに加えて、こうした方がいいのでは？もっと〇〇したい！と思うことが次々と出てくるのは望ましく、先生方の意欲が有り難い。</p> <p>○数字では評価できない陰の努力や、見えない”力”の蓄積が、必ず次の結果へつながると感じる。</p> <p>○全体的に「学級差が大きい」と分析されていると感じるが、学級差が大きくなる原因の分析がさらに必要と感じる。教員の指導による差なのか、その学級のもつ雰囲気によるものなのかを分析し、改善策につなげる必要があると思う。</p>
今後の改善策(案)の適切さ	A5	<p>○指標とする標準テストの時期を早めて12月に変更するのは妥当。1年生の分離礼のように、学校で指導できることを大切に積み重ね広げていってほしい。</p> <p>○具体策への取組や数値で可視化されているので、新年度へのステップとなるでしょう。</p> <p>○改善策の大きな枠組みとしては適切と感じる。今後、学校関係者評価委員会だけでなく参観日後の学級ごとの懇談会などでも、学級としてどのように改善していくのかを保護者とも共有することで、学校と家庭、地域全体で児童の成長につながると思う。</p>
その他		<p>○今日の授業を見て、個人差はあるがどのクラスも明るい雰囲気となってきているように思った。やる気を起こす活気のある取組があったからだと思う。地域に開かれた教育を進められていることは、掲示物を見ても分かる。評価しやすい方策や指標は取り組みやすい。郷原っ子の7つのスタンダードは、具体的に評価が上がるように取り組んでいてもよい。3学期に始めたあいさつ運動は、来年度も続けてほしい。</p> <p>○先日の入学説明会。5年生と年長さんとが別れを惜しんで手を振り合っていた姿から、4月以降の学校生活への期待感や安心感をどれだけ高めたことか・・・と嬉しく思った。中断していた行事復活は、準備等時間も手間もかかることだろう。なかなか勤務時間削減は困難だと感じる。</p> <p>○細やかなご指導で、個々に合わせて対応される先生方のご努力は、必ず結果となり前進されると感じている。</p> <p>○目標・指標を設定し、目標達成の方策をたて、それに対する評価・結果・分析さらに今後の改善策等々、先生方の多大なご努力、ご苦労があったことと思います。また、教職員の時間外勤務と仕事量のからみで大変なこととは思いますが、「郷原っ子」のために引き続きよろしくをお願いします。</p> <p>○登校時、前後の集団からかなり離れて一人で登校している1～2年生を多々見かける。一人にならないよう、また前後の集団と一緒に注意してもなかなか応じてもらえず、不審者や野良犬の出没ありと聞く昨今、万一の有事を心配している。学校でも注意していただくようお願いします。</p> <p>○下校時、農作業をしている人に「こんにちは、頑張ってください。」とあいさつしてくれる児童がいる。非常に気持ちよく、元気をもらえてありがたかったです。</p> <p>○雨天時、校庭の水溜まりをかなり見受ける。真砂土を2tトラック1台分、業者に無償でいただくよう依頼し了承済み。</p>

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<p>○学力向上に関する指標として定めた「標準学力テスト」については、最終評価までに分析、改善策提案ができるよう12月実施とする。</p> <p>○目標達成のための方策や指標となる数値等を、各分掌で的確に分析し学校関係者評価委員会を担当教員がそれぞれ報告することができたので、評議員及び評価委員の皆様にも分かりやすかったと思う。来年度もこの体制を続けていく。</p> <p>○昨年度以上に学校行事をコロナ前の形態に戻ってきた。そのため、地域や関係機関との連携が進み、皆さんが喜んで学校に協力してくださったので有り難い。</p> <p>○目標達成のための方策及び指標について、実行可能な目標値となるよう各分掌で十分に吟味し決定する。</p> <p>○来年度も、児童の心を揺さぶるような行事や保小中連携等を仕組むことに努める。</p>
--------------------	---